

新たな成長に向けた労使による課題解決
～生き生きと働き続けられる職場づくり～

労使実務研究部会

2025

2025年度 労使実務研究部会

趣旨

日本企業の強みは、労使が職場の問題に真摯に向き合い、協議を通して解決を図っていくという風土であり、その基盤は健全な労使関係にあります。社会・経済環境、働き方や価値観が多様化する中、新たな企業の成長の実現に向けては、労使実務において様々な課題へ新たな発想、対応が求められており、その意味からも『労使の協力と協議』がますます重要となっています。そこで、労使の担当・実務者が、職場における共通の課題を共に考え、今後の方向性を検討する場とすべく、各テーマにおける先進企業からの取り組み事例紹介、有識者からの講演、並びに意見交流等の場を設定し、その課題解決の一助として開催いたします。

第1例会

<離職防止、若手育成、自律的人材育成>

と き 2025年6月6日(金) 13:30~17:00 参加方法 ① 会場 (中部生産性本部 セミナールーム)
② オンライン (Zoom)

テーマ1 「離職防止の教科書：離職の心理と部下のタイプ別対応策」

講師 一般社団法人日本経営心理士協会 代表理事 藤田 耕司 氏

視 点 「離職の心理」を理解して、社員が辞めない職場づくりを！テレビでは転職関連のCMが頻りに流れ、人材紹介会社からはスカウトメールが届くなど、さまざまな形で社員に転職の誘惑がつきまといまいます。そうした離職が生じやすい状況に対応し、社員の離職を防ぐためには、「離職の心理」について理解する必要があります。本例会では、「離職防止の教科書」の著者の藤田氏から、離職の心理と部下のタイプ別離職防止策について、お話をいただきます。

テーマ2 「みんなで学ぶ！ 旭化成の「新卒学部」」

～自律的な学びでキャリア不安を解消し、組織変容を実現～

講師 旭化成(株) 人事部 人財・組織開発室 梅崎 祐二郎 氏

視 点 終身雇用が見直されてキャリアの選択肢が多様化する中、社員に対して自律的なキャリア形成を求める企業が増えています。そうした中、キャリア形成への不安を抱える若手も増えていきます。旭化成では、人材戦略の一つ「終身成長」の実現に向け、主体的に学び続ける社員を増やす真のキャリア自律のための「みんなで学ぶ」コミュニティーづくりに注力しています。本例会では、同社の取り組みについて、お話をいただきます。

第2例会

<いきいき働ける職場・心理的安全性>

と き 2025年8月4日(月) 13:30~17:00 会場 中部生産性本部 セミナールーム

テーマ 「もう、うんざり！のチームや職場に「やる気」を取り戻す！」

～組織の体質を現場から変える100の方法～

講師 あまねキャリア(株) 代表取締役CEO 沢渡 あまね 氏

視 点 多くの人は、組織や職場に対して、「うんざりだ」と感じたことがないでしょうか？「ルール」の遵守を重んじて、例外は認めない、役職や権限を重視し、現場を厳しく「管理統制」する、「失敗」は非難されるため、入念に評価・準備を行うなど、レガシーな体質にモヤモヤ、うんざりしてしまっている人は、少なくありません。本例会では、そうした職場の問題改善コンサルタントとして活躍される沢渡氏から、その組織の体質をいかに変えていくべきか、実践的なポイントの解説と参加者意見交流で方向性を探っていきます。

第3例会

<シニア活躍促進への定年延長>

と き 2025年9月19日(金) 14:00~17:00 参加方法 ① 会場 (中部生産性本部 セミナールーム)
② オンライン (Zoom)

テーマ1 「地元企業；大同特殊鋼の定年延長制度導入の取組」

講師 大同特殊鋼(株) 人事部長 溝尾 岳史 氏

視 点 地元企業では、定年延長に取り組む企業が少ない中、大同特殊鋼では、多様な人材の活躍と「働きがい」を感じる職場環境づくりに取り組みの一環として、高齢者の活躍促進、労働力人口の減少や、さらには現場力の維持・向上といった観点等も踏まえて、2023年度から定年年齢を65歳に引き上げる定年延長制度を導入しています。本例会では、同社の取り組みについて、お話をいただきます。

テーマ2 「TOPPANグループ 65歳定年延長と今後の課題」

～主体的に挑戦し、自律的なキャリア選択に向け～

講師 TOPPANホールディングス(株) 執行役員人事労政本部長 奥村 英雄 氏

視 点 TOPPANホールディングスでは、従来は定年を60歳とし、最大65歳までシニア社員として再雇用していましたが、高齢者が現役世代と遜色なく、またはそれ以上のパフォーマンスを発揮できるとの期待、確信から、高齢者の働きがいのさらなる向上を目指し、2022年4月より定年を65歳に引き上げ、また、定年後再雇用制度を改定し、最大70歳まで働ける制度を導入しています。本例会では、人生100年70歳現役時代に向け、シニアの活躍促進に向けた同社の取り組みについて、お話をいただきます。

2025年度 幹事

当研究部会の企画立案・当日運営などの中心的な役割をお務めいただいております。

あいち銀行従組	執行委員長	杉浦豊大氏
大同特殊鋼労組	書記長	近藤陽彦氏
(株)デンソー	人事部労政・技能人事部労務企画課長	川崎貴之氏
東邦ガス(株)	人事部企画グループマネジャー	北原弘康氏
トヨタ自動車労組	副執行委員長	江下圭祐氏
名古屋鉄道(株)	人事部人財活躍推進担当課長	古池沙織氏

(組織名五十音順)

幹事会

第1回

とき

2025年 9月19日(金)

第2回

とき

2025年12月16日(火)

第4例会

<残業減、ウェルビーイング向上、仕事の質向上>

とき 2025年 11月13日(木) 14:00~17:00 参加方法 ① 会場 (中部生産性本部 セミナールーム)
② オンライン (Zoom)

テーマ1 **「残業減へ仕事の生産性を高める実践業務改善のポイント」**
～エンゲージメント向上、ウェルビーイングの促進～

講師 **コクヨ(株)** 働き方改革プロジェクトアドバイザー **坂本 崇博 氏**

視点 働き方改革や労働基準法の改正により、労働時間の短縮が求められる中でも依然として減らない残業。本例会では、その残業減、ウェルビーイングの実現に向け、コクヨに入社以降、生産性向上の観点から会議体の工夫、資料共有活用の仕組みづくりなどを考案、また政府の「霞が関働き方改革推進チーム」のアドバイザーを務めるなど豊富な実績、経験を持たれている坂本氏から、各社での残業減、仕事の生産性向上を指導されてきた事例を踏まえ、業務改善のポイントについて、お話しをいただきます。

テーマ2 **「働きやすさと働きがいを実現するウェルビーイング経営」**
～残業減・休日取得増を成功させる4つのポイント～

講師 **SCSK(株)** 執行役員人事分掌役員補佐 (DEIB・Well-Being 推進担当) **河辺 恵理 氏**

視点 「第1回働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」大企業部門の最優秀賞を受賞した実績を持つSCSK。同社は、IT業界ゆえにかつては長時間労働や深夜残業が常態化していました。社員の健康を守るために、当時の社長が取り組んだのが「スマートワーク・チャレンジ」という名の働き方改革です。「残業時間20時間/月以下、年次有休20日(100%)の取得」という目標を掲げ、強力なトップダウンと現場での工夫により社員の意識も大きく変わりました。本例会では、その長年の取り組みについて、試行錯誤も交えながら、現在の進化形を含めお話しをいただきます。

第5例会

<知らなかったでは通らない>

とき 2025年 12月16日(火) 13:30~17:00 会場 中部生産性本部 セミナールーム

テーマ **「労使に関する最新の重要法改正および裁判例、
ならびに企業労使実務の対応ポイント」**

講師 **アンダーソン・毛利・友常法律事務所 外国法共同事業** 弁護士 **嘉納 英樹 氏**

視点 2024年下半年から2025年にかけての主要な話題は、社会保険の適用対象者拡大、フリーランス適正化法、自転車運転中の酒気帯びまたはスマホ使用の違法化、「下請取引の適正化について」、企業型確定拠出年金掛金変更、大麻使用違法化、育児休業介護休業法の改正、次世代育成支援対策推進法の改正、出生後休業支援給付金、東京都・北海道・三重県桑名市のカスハラ防止条例、失業等給付(基本手当)の給付制限の短縮です。本例会では、重要な法令改正および裁判例について復習しつつ、2025年通常国会で議論される下請法・労働施策総合推進法の改正ならびに2026年施行の日本版DBSなど将来の方向性について概観します。[架空事例]を解き、[寸劇]を観て考えながら、実務的な対応策を一緒に勉強しましょう。

*講師等の都合により、上記内容は変更となる可能性があります。また、各例会の詳細は、開催の約1ヶ月前にご案内いたします。

中部生産性会議 の ご案内

とき 2025年 9月9日(火)・10日(水)

ところ メルパルク名古屋

対象 中部地域企業の人事を含めた幅広い部門の
部課長リーダークラス、労組役員

参加費 (会員・一般) 39,600円(税込)

申し込み方法

中部生産性本部ホームページよりお申し込みください。

<https://www.cpc.or.jp/cpc/pages/116/>

中部生産性本部

検索

申し込みページ



※ 昨年度登録されている場合、別途ご案内いたします。

開催要領

と き 2025年6月6日(金)～2025年12月16日(火) (年間5回)

参加方法

会場 または オンラインの選択制 (第1、第3、第4例会)

① 会場 (中部生産性本部 セミナールーム) (豊島ビル11階)

② オンライン (Zoom)

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15

※ 第2例会、第5例会は会場(中部生産性本部 セミナールーム) (豊島ビル11階)のみでの実施となります。

年間登録費

一般財団法人中部生産性本部 会員組織	67,100円	} 1組織2名登録 資料代・消費税含む。
一般組織	111,100円	

- ① 年間登録費につきましては、請求書に記載の振込み期日までにお振込み願います。
なお、振込手数料については、お客様にてご負担願います。
- ② キャンセルは5月30日(金)までをお願いいたします。
5月31日(土)以降は登録費の払戻しをいたしかねますのでご了承ください。

対象

人事労務担当者及び労組役員

申込締切日

2025年5月30日(金)

運営方法

- ① 各例会はご登録組織におけるメンバー制にて運営いたします。
- ② 各例会の詳細は、開催の約1ヶ月前にEメールでご案内いたします。
- ③ 各例会への出席は2名まで可能です。(代理出席可)
- ④ 録画の配信は許可いただいた講演のみ、後日登録者の方にご案内いたします。(期間限定)

注意事項

下記事項を確認、同意の上、お申込みをお願いします。

- ① 講師の都合などの事情により、日程・時間・内容並びに開催形態の変更をさせていただく場合がございます。ご了承ください。
- ② 講演の録画、録音、配布資料記載事項の無断転載、オンライン参加の場合は画面撮影、画面キャプチャー、SNSなどへの掲載を固くお断りいたします。その様な行為が発覚いたしました場合、事務局より削除を要請、または講師より請求されます損害賠償を請求させていただきます。
- ③ (オンラインの場合) 当方に起因しないシステムトラブルにより画像・音声に乱れが生じた場合については、再送信や返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ④ オンラインの場合、視聴URL等は参加されるご本人のみ有効です。第三者への転送はご遠慮ください。
- ⑤ 本注意事項については、代理参加となった場合は、代理参加者に自動的に適用されます。

お問い合わせ先

一般財団法人 中部生産性本部 《<https://www.cpc.or.jp/cpc/>》

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階

TEL (052) 221-1261 FAX (052) 221-1265

●担当 / 雲井・高橋・中川